

## 「東大に行こう」（進路意識啓発企画）報告書

### ○ 東京大学見学プログラム

#### I 松井彰彦先生の模擬講義＋ノートテイク（10：00～12：00）

プログラムテーマ「東大生のノートは本当に美しいか」

- ・松井彰彦先生による模擬講義「鎌倉時代から室町時代の政策・経済について考えよう」

- ① 福島東高生26名と東大生3名が、講義を受けてそのノートを取る。
- ② 講義の後、東大生1名ずつを含む3班に分かれてそれぞれのノートを見せ合いながら、その印象・特徴などについてグループごとにセッションする。
- ③ 書画カメラで実際に東大生のノートと東高生のノートを示しながら、各班で話し合った内容を発表する。

#### 【発表の内容】

- ・講義の内容を理解するための覚え書きのノートか、後で振り返るためのノートか。場面や教科によってノートの使い分けをしている。

- ・振り返るためのノートの場合、後で話の展開を思い出せるよう、板書に説明を書き足す。

- ・自分なりの「ノートの取り方ルール」を持っている。

例)板書と先生のコメントを色分けする、始めに二分割して使う、余白を多めにする、など

#### II 昼食(学生食堂利用)・自由散策・(12：00～14：00)

#### III 経済学部図書館見学(14：00～15：00)



松井先生による講義の様子



東大生を交えたグループセッション



赤門前にて

○ 総括

- 生身の東大生に触れることで、東大が遥か縁遠い存在ではないことを実感させることができた。
- 東大のキャンパス内を散策し、アカデミックな雰囲気に触れ、大学受験に向けた意識の向上を図ることができた。